

平成29年度 荒川商工会 景況調査報告書

これは、会員の皆さんよりご協力いただいた景況調査の結果報告書です。
今後の経営に役立てて活用していただきたく、ご報告いたします。

1. 調査要領

(1) 調査対象

ア 対象地区 荒川商工会地区内小規模事業者
イ 調査企業数 40 事業所 (うち小規模事業者数 40 事業所)
ウ 回答企業数 40 事業所 (うち小規模事業者数 40 事業所)
(回答率 100.0%)

(2) 調査対象期間

平成29年7月～平成29年12月
(調査時点 平成29年12月1日)

(3) 調査方法

経営指導員等による巡回または窓口によるヒアリング調査

(4) 調査対象と回答企業の構成

	調査対象		有効回答	
	企業数	構成比	企業数	構成比
製造業	3	7.5%	3	7.5%
建設業	12	30.0%	12	30.0%
卸・小売業	9	22.5%	9	22.5%
サービス業	16	40.0%	16	40.0%
合計	40	100.0%	40	100.0%

2. 地域内産業全体の景況概要

地区内の景況は全産業で良好な状況である。調査企業の半数近くが売上増加しており、好況感がうかがえる。しかし、今後の見通しは不透明で不安要素があると考えられる。

【後継者の状況】

後継者があるのは25%で、残りの75%は後継者がなく、地域の大きな課題である。

後継者 あり	10事業所	25.0%
後継者 なし	30事業所	75.0%

【売上高】

前年比、前期比とも売上が増加している。企業の半数近くが売上増加しており、好況感がうかがえる。しかし、今後の見通しは増加が僅かで、90%が不変、減少と答えており、今後の地域経済については先行き不透明の感がある。

前年同期比

増加	不変	減少
19	12	9

前期比

増加	不変	減少
18	19	3

今後の見通し

増加	不変	減少
3	21	16

【採算】

半数近くの企業は、前年比及び前期比とも採算は好転していると答えており、総じて1年前より改善している状況である。反面、今後の見通しは35%が採算悪化としており、長期に好転は望めない状況である。

前年同期比

好転	不変	悪化
18	17	5

前期比

好転	不変	悪化
16	21	3

今後の見通し

好転	不変	悪化
4	22	14

【仕入単価】

今年の燃料価格は多少高騰した時期もあったが、安定して推移し、仕入価格も大きな変動もなく企業経営に大きな影響はなかった。

前年同期比

上昇	不変	低下
10	29	1

前期比

上昇	不変	低下
15	24	1

今後の見通し

上昇	不変	低下
13	20	7

【販売（客）単価】

25%の企業が販売単価が上昇したと答えているが、経営に大きな影響はなかったと推測される。今後の見通しは安定して推移すると判断される。

前年同期比

上昇	不変	低下
10	27	3

前期比

上昇	不変	低下
10	27	3

今後の見通し

上昇	不変	低下
5	27	8

【資金繰り】

金融緩和の影響も大きく、資金繰りは安定している。しかし、今後の見通しで悪化の回答もあり不安要素もある。

前年同期比

好転	不変	悪化
5	28	7

前期比

好転	不変	悪化
5	30	5

今後の見通し

好転	不変	悪化
1	29	9

【雇用動向】

雇用動向は、全業種とも大きな変化なく推移している。

前年同期比

増加	不変	減少
1	38	0

前期比

増加	不変	減少
0	39	0

今後の見通し

増加	不変	減少
1	37	1

【景況判断】

国内経済の先行きは不安材料が払拭できない状況だが。景況判断は早期の好転は望めないものの、悪化すると懸念をする企業も少なかった。しかし、今後の見通しは27%の企業が悪化すると予想しており、安定した景況感が持続するとは見込めない。

前年同期比

好転	不変	悪化
7	26	7

前期比

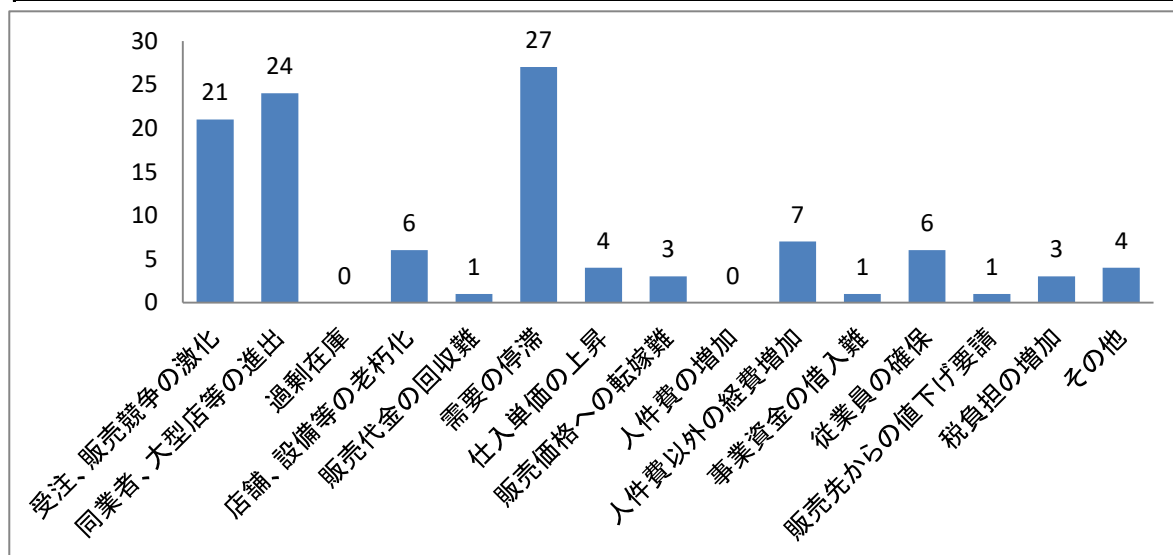
好転	不変	悪化
8	27	5

今後の見通し

好転	不変	悪化
1	26	11

【経営上の問題点】

地域では第一に需要の停滞、次に同業者・大型店の進出、受注・販売競争の激化が大きな問題となっている。昨年と同様、少子高齢化に伴い需要の停滞に加え大型店との競争が厳しい状況は変わらない。今後も早期の改善は望めず厳しさは増していくと考えられる。



3. 産業別景況概要

(1) 製造業

調査企業の大半は状況が変わらずに安定している。しかし、受注減少の問題点を抱えており見通しは不透明である。

(2) 建設業

最近では公共事業も減り、大手も少額な工事にも参加し中小企業はますます競争を強いられている。受注・売上も減少し厳しい状況である。

(3) 卸・小売業

地区内に大手スーパーが出店、進出し限られた需要のなかで競争が激化している。年々、その影響が大きくなり、地元小売店の経営は圧迫され、苦しくなっている。後継者のいない事業所は継続困難な状況となり廃業も出ている。今後も事業承継が大きな問題となってくる。

(4) サービス業

地区では美容院及び飲食店が多く地域経済の一翼となってきた。しかし、少子高齢化に伴い需要の停滞に加え同業者の競争が厳しく売上も伸び悩んでいる。今後も急激な改善は望めず厳しさは増していくであろう。しかし、若い経営者の美容店ではホームページやSNSを活用して集客を図り、ケーキ店ではインターネットで全国の顧客へスイーツを発送して売上を確保している。また、この地域でラーメン店を成功させ、新潟市内等に新規に出店展開し、チェーン店を運営する地元企業もある。これらは既存の経営手法にとらわれることなく、若い発想で、その経営意欲を地域だけでなく多方面に投資・拡大を図っている成功事例である。

(様式⑤)

No.	
-----	--

景況調査ヒアリングシート（平成29年度）

調査対象期間 平成29年7月～12月
(調査時点 平成29年12月1日)

商 工 会 名	商 工 会	担当職員名	
企 業 の 概 要	業 種	1：製造 2：建設 3：卸・小売業 4：サービス他	
	従業員数	1：0人 2：1人～2人 3：3人～5人 4：6人～20人 5：20人超	
	企業区分	1：小規模事業者 2：小規模事業者以外	
	後継者の有無	1：有 2：無	

(1) 貴社の状況についてお答えください。(該当する番号に○を付してください。)

	前年同期(H28年7～12月) と比較して	前期(H29年1月～6月) と比較して	今期(H29年7～12月)と 比較した来期(H30年1～6月) の見通し
売 上	1.増加 2.不変 3.減少	1.増加 2.不変 3.減少	1.増加 2.不変 3.減少
採算(経常利益)	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化
仕 入 単 価	1.上昇 2.不変 3.低下	1.上昇 2.不変 3.低下	1.上昇 2.不変 3.低下
販売(客)単価	1.上昇 2.不変 3.低下	1.上昇 2.不変 3.低下	1.上昇 2.不変 3.低下
資 金 繰 り	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化
雇 用 動 向	1.増加 2.不変 3.減少	1.増加 2.不変 3.減少	1.増加 2.不変 3.減少
景 況 判 断	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化

(2) 貴社の経営上の問題点(下記より上位3つまでを選び、○を付してください。)

- ①受注、販売競争の激化 ②同業者、大型店等の進出 ③過剰在庫
④店舗、設備等の老朽化 ⑤販売代金の回収難 ⑥需要の停滞
⑦仕入単価の上昇 ⑧販売価格への転嫁難 ⑨人件費の増加
⑩人件費以外の経費増加 ⑪事業資金の借入難 ⑫従業員の確保
⑬販売先からの値下げ要請 ⑭税負担の増加
⑮その他 ()

(3) 今後の事業・経営において強化したい点(設備投資・販路開拓等)

--